



題字・松尾金蔵書
発行

修猷館同窓会東京支部
事務局

〒185-0034
東京都国分寺市光町2-14-85
(有)パルティール内
FAX 042-573-5060
東京修猷会ホームページアドレス
<http://www.shuyu.gr.jp>

「untitled」

福岡県立美術館収蔵

古川 吉重(S15年卒) 作

1921 福岡市生まれ
1943 東京美術学校
油絵科卒業(現東京芸術大学)
1963～2000 ニューヨーク在住
2001より相模原市在住

作品収蔵先
東京国立近代美術館 京都国立近代美術館
国立国際美術館 福岡市美術館
大原美術館 福岡市役所
西日本新聞社 九州電力(株)
福岡県美術館 田川市立美術館
大英博物館(ロンドン)NY図書館
ブランドイース大学ローズ美術館
(アメリカ)
ローランドギブソン美術館 アメリ
テック ソロモンブラザーズ東京
オフィス
ワシントン・レーガン空港(特殊壁
画) その他個人コレクション



東京修猷会によせて



東京修猷会副会長
久保田 勇夫
(昭和36年卒)

明けましておめでとうございます。昨年、東京修猷会の副会長の一人を仰せつかりました。微力ですが全力を尽くしたいと思っておりますので、何卒よろしくご指導のほど、お願い申し上げます。

私は、昭和三十六年、修猷館を卒業して東京に出てまいりました。以来四十二年、故郷を離れております。その間、東京と福岡の間を何回往復したことでしょうか。学生の頃は、夜行の臨時急行列車を利用するのが常でした。夜の十一時近くに東京駅を発った臨時急行「筑紫」は二十四時間近くかかって、漸く博多駅に着きました。東京駅で二、三時間前から列に並んで漸く座席を確保しました。運が良ければ、「あさかぜ」、「はやぶさ」といった寝台特急の恩恵にあずかることが出来ました。これだと十六時間余りで博多に着きましたし、夜の間は眠ることが出来ました。今は一時間半のフライトと地下鉄で、随分と便利に、また、楽になりました。

福岡では、両親の家に泊まりました。父が亡くなり母が一人で暮らすようになって長い間、その世話になりました。そして、母が年をとり、他人のめんどうはみきれないという頃から、私は天神北のきちんとした手頃な料金のビジネスホテルを定宿にするようになりました。このホテルから天神に向かって一、二分歩いたところ、小路の傍らに、高さ一メートル足らずの小さな石碑があります。正面に「広田弘毅先生 生誕之地」

とあり、右側面に「昭和五三年十一月建之 生誕百年 三十回忌 記念」と、左側面に風格のある字で「出光佐三書」とあります。

時間があれば、足を延ばして彼の有名な水鏡天満宮に向かい、広田弘毅氏が子供の頃揮毫された「天満宮」の額を眺めます。実に伸びやかな字だと思えます。ライトアップされた夜は更に情緒があります。その際、頭をよぎることがあります。それは、格別に都会的環境に育ったわけでもないこの頭脳明晰な青年が、世間の支援を背に、どういう状況の下でこの東京で、大学生活を送り、外交官となり、外務次官にまで上りつめ、ついには外相、首相にまでなったのだろうか、また、あの東京裁判で、何故、弁明の言を何ら発することなく、むしろ進んで死を受け入れたのであろうか、ということでありまして、二つ目の間についてはともかくとして、第一番目の間については、その答えが多少、想像出来るような気がしております。

結論を先に書きますと、この東京というところは、(これが当てはまらない人も勿論いるでしょうが)、修猷館の卒業生にとつては、或いは九州出身者にとつては、社会的には、余り居心地の良いところではないのではないか、ということです。世間に出て、修猷館のOBやOGの話に及ぶと、「ああ、あの変わった人ですね」という答えが返ってくるのがよく

あります。この場合、先方はネガティブな意味あいを含めているのが普通です。ところが、よくよく聞いてみると、それは多くの場合、当人が自分独自の人生観を持っておりそれに従って発言したり行動しているだけだということがわかります。だとすれば、その人は自己の価値観を持っており、しかもそれに忠実だということですから、真に人間らしい立派な人だということになるはずで、付和雷同して耳障りの良いことばかりを言う人々とは区別されてしかるべきでしょう。

また、ここでは、「至誠天に通ず」、「不言実行」、「敬天愛人」、あるいは、「御国の為に、世の為に」といったわれわれが慣れ親しんだ概念は、残念ながら、そう簡単に通用しないように思います。こういうことをあまり振りかざしていると、足をすくわれ、好ましくならざる結果を招くことが少なくないかもしれません。また、むずかしい時期に、むずかしい仕事を委され、それなりの成果を挙げたにもかかわらず、十分報われないわば「功多くして功名少ない」ことも少なくないかもしれません。

しかしながら、先に述べたように自らの価値観を持ち、それに従った生き方をすることはとても大事なことで、わが国が世界各国に伍していく上で、とても大切なことのように思います。長年、欧米先進国とも、途上国とも国際交渉を行なってきた私は、ある程度自信をもってそういうことを申し上げたいと思います。

だとすれば、わが修猷館の卒業生達が、そのありのままの姿で活躍することは、広くわが国の国益にかなうものである、という理屈も成り立つことになります。いずれにしても、新年が皆様方にとりまして、良い年でありますようお祈りしつつ、ペンを置きます。



東京修猷会 〇〇四年活動スケジュール

二木会(六、八月を除く)
毎月第二木曜日
六時から食事、七時から講演

1月 元旦に全会員に送付
会報発行
一月八日 二木会 於：学生会館
小川 洋(S43年卒)

2月 「これからの技術開発政策について」
二月十二日 二木会 於：学生会館

3月 三月十二日 二木会 於：学生会館
下旬 常任幹事会(決算見直し、
総会内容発表等)

4月 四月八日 二木会(新人歓迎会)
於：学生会館

5月 中旬 二木会ゴルフコンペ
五月十三日 二木会 於：学生会館

6月 六月十一日(金) 総会
「修猷伝説! 知つて? こんなんこと」
& 懐かしい先生方のビデオレター
於：日本都市センターホテル
午後六時より
(幹事学年は五三年卒)

7月 七月八日 二木会 於：学生会館

9月 九月九日 二木会 於：学生会館

10月 十月十四日 二木会 於：学生会館
下旬 常任幹事会(総会報告、
来年度総会計画発表等)

11月 十一月十一日 二木会 於：学生会館

12月 十二月九日 忘年会

この他、執行部としては、総会準備のための幹事学年との打ち合わせ、会報編集会議、他支部の同窓会総会への出席など随時行っています。

相対論講義始末

岡村 浩 (S35年卒)

相対論をご存知ですか。四月から放送大学で全十五回の相対論の講義を担当することになりました。この機会に皆様にご挨拶申し上げたいと存じます。

相対論には、ほぼ百年の歴史があります。アインシュタインが、一九〇五年に特殊相対論を発表し、一九一五年に一般相対論を発表しました。

特殊相対論の主旨は光です。ものの速さは、電車の中の人から測ると、外の人が測るとで違いますが、光の速さは、測る人が動いていても止まっても変わりません。これはとても不思議なことなんです。ところが、アインシュタインは逆に、光を、光の速さで追いかけるようなものかと考えました。止まっている光が見えるでしょうか。光は

電磁波ですから、止まっている電磁波なんてありえないと考えたのです。

考えに考えた結果、アインシュタインは時間が問題だと気づきました。時間は動いている人と、止まっている人で違うのです。そう考えることによって、特殊相対論ができました。

そうしますと、宇宙飛行士が宇宙に行くと帰ってきたら、地球上に残っている人より若いということが起こります。実は、日常生活でも、カーナビを正確に作動させるために、一秒間に三センチメートル程度ですが、補正を行っているのです。

それだけではなく、特殊相対論によって原子爆弾ができ、星の輝く理由もわかりました。特殊相対論は電磁気学や量子

力学といった物理学の分野の理解には欠かせない理論です。しかし、重力の理論は特殊相対論では取扱えません。アインシュタインが十年かかってたどりついたのが一般相対論です。これはかなり複雑な理論ですが、一九一九年、重力によって光が曲がるのが日食のときに観測され、アインシュタインは一躍世界的な有名人名になりました。

それでも一般相対論は地味な理論で影響も少なかったのですが、最近ではブラックホールや宇宙論といった、重力が強い場合の話が出てきました。宇宙にはブラックホールという、何でも吸い込む天体があります。私達の銀河系の中心にも静かなブラックホールがあります。

宇宙の年齢について、最近WMAPという観測結果が出て宇宙の寿命が正確にわかりました。約一三七億歳です。では、その前は一体・・・とお考えにな

かというプレッシャーもあります。しかし自分自身に良い刺激になります。わずかな時間ですが日頃の仕事にない非日常を体験できて、私の方が母校に感謝する気持ちになりました。

スーパー・サイエンス・ハイスクール

母校の土曜出前講座

「建築への手ほどき」

宮脇 淳 (S52年卒) 大成建設(株)

生徒に提示された講義内容の紹介文から抜粋すると

「前半は私のプロフィールを紹介しながら、建物がどのような手順で出来あがっているのかを説明します。後半は、図面を読むための実習です。自分自身の部屋を題材に、平面図や展開図を描くことを通じて、二次元の図面から三次元の空間がイメージできるように指導したいと思っています。発展的には、自分の家(マンション)全体の平面図が描けるようになり、また身の回りにある図面(例えば新聞折込広告の中にある間取り図が理解できるようにするなど、建築への興味が広がると思います。」

案内係の生徒に伴って教室に入ると、まずは一度やってみようという意気込みで、一人一人名前を読み上げて確認します。眠そう

な生徒もいますが真剣にこちらを見ています。パワーポイントで「私の地図に残る仕事」と題して、私が関わった建物の紹介からスタートです。説明している内に緊張も取れて自分のペースになってきます。続いて作図に進みます。自分の部屋を思い出しながら平面図から描き始めます。寸法や縮尺などの情報は与えずに自由に考えながら鉛筆が動き始めました。A3の方眼紙一杯になる生徒も真中に小さく書いてる生徒もいます。机やベッドなどの家具なども配置していきます。天井の高さや窓やドアの大きさに注意しながら4面の展開図が完成していきます。予定通りの時間内で全員が図がほぼ完了しました。生徒の理解力がいいのか、あまり質問もなく拍子抜けですが、作図の手順やポイントは理解してもらったのではないかなと思っています。

教えるということはたまにやってみると楽しいものだと感じました。もちろん準備も必要で少し、本当に期待に答えられるだろう

「食品リサイクル」

村田 亮二 (S52年卒) 永瀬(株)

「わずか四〇%、と先進国の中では最低レベルにある日本の食糧

自給率の現状や食品リサイクルの事を現役高校生達に知ってもらいたい。」そう言った気持ちから出前講義の講師を希望致しました。

また、同期の永瀬川鶴さんと岩本裕州君が母校で教鞭をとられていた事から「何かお手伝いを」と言った気持ちもありました。出席された生徒さんは二〇名。食料に関するテーマだったせいなのか女子生徒の方が多かった様です。授業ではあらかじめ用意した約二〇

点の飼料、肥料原料のサンプルを見せて名前・原産地をグループごとに相談して当ててもらい、つ

つとに相対して当ててもらい、つ平行して食糧自給率の事、穀物輸入とそれに伴う為替の仕組みやリサイクルの話を進めて行きま

る方もあるでしょうね。

重力波の存在は間接的に確かめられました。いまアメリカの平原に長さ四キロメートルの重力波観測装置ができて観測を始めています。

私は以前、一般相対論の細かい計算を行いました。一般相対論のある限り意味を失わない結果です。そのことはひそやかな誇りでありました。

概略このようなお話です。新しい経験でした。相対論をもっと勉強しようと思いました。

高校以来憧れの中山正敏先輩(昭和二十九年卒)にお世話になりました。ありがたいことと、感謝申し上げます。

放送日程 (NHK放送大学テキスト) 二〇〇三年四月〜七月毎週水曜日 朝八時十五分〜九時 全十五回 再放送 十月〜毎週土曜日 十七時三十分〜十八時十五分 再放送二月

した。大豆油粕、菜種油粕、米糠魚粉、ふすま、カカオ粕、醤油粕それに悪名高き肉骨粉(と言つても鶏肉粉)等々いずれも初めて目にするのでしよう、皆さうワイワイガヤガヤと楽しんで議論していました。また、「マクドナルド

が九月、十月頃に月見バーガーを出すのは、一年の中で最も卵の相場が下がる七月、八月頃に仕入れるから。」といった裏事情には、バーガーっ子達も興味津々の様子でした。

後日送られてきた生徒さん達のアンケートでは「日本の食糧自給率の低さに驚いた」「食べ物に無駄にしているといけない。もっとリサイクル精神を持たなければ」「輸入に頼らないと牛、豚、鶏肉

すらまかなえないと言っている事から「何かお手伝いを」と言った気持ちもありました。出席された生徒さんは二〇名。食料に関するテーマだったせいなのか女子生徒の方が多かった様です。授業ではあらかじめ用意した約二〇

点の飼料、肥料原料のサンプルを見せて名前・原産地をグループごとに相談して当ててもらい、つ

つとに相対して当ててもらい、つ平行して食糧自給率の事、穀物輸入とそれに伴う為替の仕組みやリサイクルの話を進めて行きま

る方もあるでしょうね。

アイボの先に 人型ロボットが見える

高西 淳夫 (S50年卒)

早稲田大学理工学部教授の高西淳夫さんは日本のロボット学会で中心的役割を担ってこられ、福岡のロボット・ベンチャー企業のテムザック、SONY、三洋電機、NTTなど十社以上の企業に

おけるロボット開発にも協力されています。それと同時に、将来のパーソナル・ロボットとして人間型ロボットの基礎研究や人間のメカニズムの解明等を行っていらつやいます。現在開発中の様々なロボットを紹介しながら、社会との関係について二本会で語って貰いました。また母校での出前講座でも話して貰いました。

産業用のロボットはかなり普及していますが、最近それが工場の外に出て人間環境に入るロボットが出現しています。テムザックやSONY等多くの企業や機関がこ

のロボット開発を行なっており、中でもSONYのAIBOは家庭用の最初のロボットとして話題を呼びます。メディアを通じて一般にも知られることとなりました。

早大ヒューマノイド研究所 (HRI)とその歴史 早大の故加藤一郎教授が、一九七三年に二足歩行を可能にし、十年後は講演を読んでエレクトニを演奏出来るようになり、それが筑波万博ではN響とロボットとのアンサンブル演奏という形で紹介されました。そして二〇〇四年四月に早稲田大から独立して、ヒューマノイド研究所(HRI)となり、現在八人の専任教授、五人

の客員教授、研究員の他百名を超える研究者がおり、世界最大の人型ロボットの研究組織となつています。また多くの企業、官公庁のサポートを得て研究を行なっているところでもです。

二足歩行のメカニズムと複雑さ 早大では十数年前に階段の上り下りをロボットで実現していま

した。ロボットにとつて関節の数がいくつあるかが機能の複雑さの一つの指標となりま

すが、産業用ロボットが六個程度なのに對し、経産省の助成により開発した早大のWABIANでは四三個もあり

ます。フルートを吹くフルート演奏というのは特異的な人間の技術と言われている。そこ

で著名な演奏家の若松氏の力を借り、ジェネラル・ボジションという技法をロボットに移植することによりロボットがフルートを美しく吹くことが可能になりました。(写真)

した。ロボットにとつて関節の数がいくつあるかが機能の複雑さの一つの指標となりま

すが、産業用ロボットが六個程度なのに對し、経産省の助成により開発した早大のWABIANでは四三個もあり

ます。フルートを吹くフルート演奏というのは特異的な人間の技術と言われている。そこ

で著名な演奏家の若松氏の力を借り、ジェネラル・ボジションという技法をロボットに移植することによりロボットがフルートを美しく吹くことが可能になりました。(写真)

は、人とロボットのコミュニケーションが必要となります。従つてロボットの人も人の形をしていた方が良

いし、また人間の五感や表現が集約されている「顔」をロボットに持たせることが意味を持つことになり

ます。脳の機能は単純化すれば反射、感情、知能に分けられますが、この中で反射と知能については相

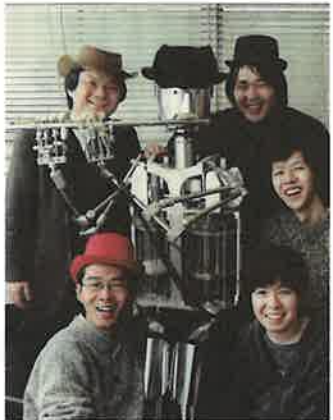
当のレベルで工学者や技術者がコミットして工学的なことが感情についてでは工学が殆ど入り込んでいないので、早大の心理学研究室

と共同研究しています。快・不快・覚醒・不覚醒、確信・不確信という仮想三次元空間に微分方程式を導入し、感情を自律生成しようとして

います。ものを噛むロボット 文科省の助成により、ものを噛むロボットについて東京医科歯科大学、昭和大学等と研究をして

きました。顎関節症の治療について山梨大学医学部と研究を進めて

いますが、その大西正俊先生も修猷館の先輩です。食品工学の面では噛み心地をロボットで定量化することを目標に和洋女子大学と研究を進めています。



同研究しています。

最後に欧米では神が人を創ったのに人が人を創ることに對する抵抗があり、場合によっては人型ロボットの研究者がカルト宗教から脅迫を受けることもありましたが、日本ではそれが無い。その意味で人型ロボットについては、日本では独自の技術分野が形成出来るかもしれないと考えています。

(早稲田大学理工学部教授)

「コーチングって？」

安部 哲也 (S57年卒)

皆様は「コーチング」「コーチ」といわれると何を思い出されますか？

高橋尚子選手の小出監督、ダイエーの王監督、古くはバレーの大松監督などをイメージされる方もいらっしゃると思います。このようにスポーツの世界でトップ選手といわれる方には必ず「コーチ(監督)」がついていて、その選手をサポートしています。

これと同じようなことをビジネスの世界で行なうのが「ビジネスコーチング」です。

これは経営者、マネージャー、社員、また政治家などに対し、コーチがついて、より良い実績を上げるようサポートするのです。

コーチングという、経験豊富な人が未熟な人に教えるというイメージがありますが、そうとも限りません。コーチングでは、質問などを通じて相手(クライアント)から答えを導くものであり、経験が豊富なコーチが経験豊富なクライアントをコーチングするケースも多くあります。例えば、GEの元CEO ジャック・ウェルチのコーチは二〇歳の女性だったという

ことです。

ビジネスコーチングは一九八〇年代に米国で普及し始め、米国では経営者、マネージャー、政治家などにコーチが付くのは一般的となつています。欧州、アジアなども広がっており、全世界では、現在、約三万人程のプロのコーチが活躍しているといわれています。日本にも一九九七年ごろ入ってきて、徐々に広がりを見せつつあります。

また、日産のカルロス・ゴーン氏は「私は日産のコーチである」と言っています。ゴーン氏は日産を強力なトップダウンではなく、コーチング的手法でコミュニケーションを重視しながら、社員の力を最大限発揮させ、日産を復活に導きました。

(拙書「カルロス・ゴーン流 リーダーシップ・コーチングのスキル」[あさ出版]二〇〇三・十二月出版)をご参照ください。

ビジネスコーチングの活用方法は、大きく二種類があります。(一)コーチにコーチングを受ける(面談、電話、メールなどで)

(二)企業のマネージャーなどがコーチング技術を身に付け、部下育成などに活用する(企業導入が進みつつあり、現在約五百社で導入)

私自身も戦略を立てたり、ビジョンを検討したりするためにコーチと契約していますが、自分一人で考えるよりも、コーチを使うことで早くよい答えを導き出すことができます。

コーチングに関しては言葉にするだけでも伝えきれないところがあります。もし関心がある方は弊社EQパートナーズでコーチングサ

ビスを提供しておりますので、「安部 ちよととコーチングはしちやうやい」とお気軽にお声をかけてください。

EQパートナーズ

http://www.eqpartners.com 東京都中央区銀座六六一 電話 〇三六二一五八三三二

高速道路無料化論
山崎 養世
(S52年卒)

昨年ほど高速道路が話題になった年はありませんでした。何を騒ぐのか。たかが高速道路。そう思われた館友も多いのではないのでしょうか。

小生は、一昨年四月に徳島県知事選挙に出馬して、遠路はるばる多くの館友の応援を受けてきました。なぜなのか説明させていただきます。

まず、高速道路が無料なのは米英独など多くの先進国の常識で、有料なのは途上国がほとんどです。日本はまさに途上国でした。資金を世界銀行から借り、名神・東名はわずか四千六百億円、建設費が一六〇〇年代末に完成しています。この借金を返すために有料制度がスタートし、三〇年で無料にする約束でした。道路財源は一九七二年（昭和四十七年）には二〇年前の百倍の二兆円になったのです。この財源で借金を返し、あとは税金で建設していれば高速道路はとくに無料になっていたでしょう。しかし当時の田

中角栄内閣は、無料どころか料金を半永久的にとり続ける制度を、国会を通さずに決めてしまっていました。かくして、「土建国家」ができました。いまでは税金と通行料金を原資にして日本はドイツの五倍の十二兆円もの金を道路に使っています。税金の三分の一です。名神・東名の料金累計は七兆円を越えます。第二の税金です。あまりに高くして不便で、地方では高速道路は使えません。東京湾横断道路や本四架橋は無用の長物と化し、木更津や四国の店は閉じ若者は出て行く。かくして、九七%の国土が過疎、三%の国土に八〇〇万人が住んでいます。高コスト社会のままで高齢化が進み、企業は中国に出て行く。誰が年金や教育を支えるのでしょうか。

無料化を実現するのは財政的には驚くほど簡単です。道路財源の二割を使えば済みます。高速道路の最大の問題は金利負担です。現在の道路四公団の四十兆円の借金は、たとえ新規建設をゼロにしても、変動金利で返済に五〇年もかかるとなれば五〇年間の平均金利が十年前の金利水準の八%になれば返済額は二〇〇兆円を突破します。

「日本列島快走論」
NHK出版より発売中

修猷館と夏目漱石
豊増 達夫
(S47年卒)

皆さんは、修猷館と夏目漱石の関係をご存知でしょうか。

別に、国語の授業で「こころ」を読み、感想文を書いた、という話ではありません。漱石全集の中に、「佐賀福岡二県尋常中学校参観報告書」が収められています。これは、明治四一年秋に熊本五高教授時代の漱石が、文部省の依頼により旧制第一佐賀中（現佐賀西高）、我が修猷館及び久留米明善堂を視察参観した報告書です。

修猷館には、十一月九日の午前九時より午後二時まで四時間（ここに互に、二年生から五年生まで四学年の英語授業を参観しています。科目は二年、三年共、訳読（英文読解）、四年は和文英訳、五年は「ゴルドス

同窓生の本
井川 聡
(S53年卒)
海鳥社

「人ありて」
山崎 養世

「福岡こそ日本の国家主義と帝国主義のうちに最も気遣いじみた一派の精神的発祥地として重要なところである」GHQ（連合軍総司令部）の調査分析課長を務めたカナダ人歴史学者ハーバート・ノーマンが著書「日本政治の封建的背景」の中で述べている言葉だ。福岡出身者にとっては、心中穏やかではられない表現である。ノーマンが、福岡をそのように認定した背景には、政治結社「玄洋社」と、その頭目である頭山滿の存在があった。

玄洋社の名は、修猷館時代、よく聞いた。国語教師だった恩師、小柳陽太郎先生が「素晴らしい先輩たちの足跡を学んでほしい」と口にしておられたのも記憶している。

玄洋社と修猷館のかかわりは深い。藩校修猷館が途絶えた後、玄洋社の教育機関だった私塾「向陽義塾」「藤雲館」を経て中学修猷館に発展したという歴史的なつながりだけでなく、修猷館卒業生の多くが、玄洋社社員として活躍している。中野正剛、広田弘毅、緒方竹虎らがその代表選手である。

本格的に玄洋社を調べる機会を得たのは二〇〇〇年暮れだった。夜、仕事を終えて酒場で一杯やっている時携帯電話が鳴った。社会部のデスクからだった。「頭山滿について書いてみないか」取材に入る前、史料に目を通している、真つ先に飛び込んだきいたのが、冒頭で紹介したノーマンの言葉だった。

取材の軌跡は二〇〇一年一月から読売新聞西部本社版に九十一回にわたって連載した。それを再構成し一冊にまとめたものが小著である。

以下、私の率直な感想である。昭和二十一年、玄洋社がGHQによって「侵略戦争を推進した団体」として強制解散させられたことは存じの通りである。以後、そこに集った人々の物語は、戦後民主主義の流れの中で「封印」され、「負」のイメージで染まるが、それは甚だしい偏見である。

来島恒喜は屈辱的な不平等条約改正案を粉砕するため外相大隈重信に爆弾を投げつけて自刃し、中野正剛は軍閥の専横を憂いて割腹した。広田弘毅は「自分が犠牲になれば他のだれかが助かる」と言って刑場の露と消えた。

彼らの心には一点の曇りもなく、その目は日本とアジアの将来をしっかりと見据えていた。インドの独立、孫文の中国革命の支援などアジアの自立に向けて活動していた。共通するのは、名利を捨てて公に尽くす気概だった。金や地位や名誉にしがみついている今日の日本のリーダーたちとはまったく違っている。思想や理屈や能書きではなく、一人でも千万人を相手に戦う勇氣のある純粋な人間の集まり、それが玄洋社の実像である。

取材で知り合った外国人の見方も興味深かった。大学で哲学を学んでいる中国人男性は「中国人は辛亥革命を応援してくれただけで今も感謝している。私は玄洋社がもつと力を持っていたら、戦争は起きなかったと思う」とも言った。ロシアの歴史

史学者で日本の大学の男性客員研究員は「マフィアのイメージは欧米のプロパガンダが作ったイメージだ」と言った。今回、取材し書き終えて、足元の歴史を見つめ直すきっかけになったと思つている。（母校修猷館の歴史、数々のエピソードを紹介、修猷館資料館所蔵の資料も多数掲載している）（読売新聞那覇支局長）
（小林 寛氏と共著）

九〇年代のはじめ、当時はまだ戦争、貧困といったイメージが支配していたベトナムに留学した。まだ東京外国語大学ベトナム語科の学生だった。駐在員を含め、当時滞在していた日本人は二〇人にも満たなかったのではと思う。実際に渡ったベトナムは、想像以上のパワーに満ち溢れ、貧しくても生き生きとした人々の表情に驚かされた。そして、戦前の古き良き日本を思わせる価値観や暮らしにほっとした。

勤勉で有能な人々が多いのに、なぜベトナムは発展しないの？次々に疑問が湧いてきた。その表面の文化が交錯する面白さがあるのにもかかわらず、日本では一般にベトナムのよさを理解してもらえなかったのも事実だった。

多くの情報を集めること、多くのものを見ようとする、深く見ることが、はるかに重要ではないかと私は思う。そうやって丁寧に世界に入っていくことが出来るのだ。

商品の多くはベトナム人の器用さ、粘り強さによって作られたもの。大国に挟まれながら、なおベトナムは独自のスタイルをもっている。それは「独立と自由ほど尊いものはない」というホーチミン氏の言葉が表すように、何千年もの間、大国のイデオロギーに挟まれながら、必死に生き延びてきた長い歴史によるものである。

ベトナムの生活に入り込んでみると、そこには歴史や気候風土にはぐくまれた生活事情や考え方があり、彼らなりの論理と価値観に基づいた、一つの合理的な宇宙が出来上がっている。その表面的なものだけを自分の持つてきたものさしで比べても意味が無い。

ベトナムの生活に入り込んでみると、そこには歴史や気候風土にはぐくまれた生活事情や考え方があり、彼らなりの論理と価値観に基づいた、一つの合理的な宇宙が出来上がっている。その表面的なものだけを自分の持つてきたものさしで比べても意味が無い。

ベトナムの生活に入り込んでみると、そこには歴史や気候風土にはぐくまれた生活事情や考え方があり、彼らなりの論理と価値観に基づいた、一つの合理的な宇宙が出来上がっている。その表面的なものだけを自分の持つてきたものさしで比べても意味が無い。

ベトナムの生活に入り込んでみると、そこには歴史や気候風土にはぐくまれた生活事情や考え方があり、彼らなりの論理と価値観に基づいた、一つの合理的な宇宙が出来上がっている。その表面的なものだけを自分の持つてきたものさしで比べても意味が無い。

ベトナムの生活に入り込んでみると、そこには歴史や気候風土にはぐくまれた生活事情や考え方があり、彼らなりの論理と価値観に基づいた、一つの合理的な宇宙が出来上がっている。その表面的なものだけを自分の持つてきたものさしで比べても意味が無い。

ベトナムの生活に入り込んでみると、そこには歴史や気候風土にはぐくまれた生活事情や考え方があり、彼らなりの論理と価値観に基づいた、一つの合理的な宇宙が出来上がっている。その表面的なものだけを自分の持つてきたものさしで比べても意味が無い。

東京修猷会2004年度総会のご案内

テーマ：修猷伝説！～知ってる？こんなこと～

2004年6月11日(金) 18:00より
平河町：都市センターホテル

幹事学年：いつざん会（昭和53年卒）

6.11

今年は第2金曜日

04

学年だより

卒業生とイベント総会

いそしみ会 林 健児 (S17年卒)

我々の学年は、昨年卒業六〇周年の節目を迎えた。昭和十七年(五四回)卒業の同窓会を「いそしみ会」と呼んでいる。五十四の「いそし」と館歌の「いそしみ努めん文に武に」にあやかって付けた名前である。思えば、中学五年生の昭和十六年十二月八日は卒業試験の第一日であった。緊張気味で教室に入ると黒板一面に「日米開戦、真珠湾攻撃万歳」と大書されていた。誰かが朝のラジオの臨時ニュースで開戦を知って書いたものであろうが、私は黒板を見て開戦を知った。試験に対する緊張に加え、来るものがきたという不安が錯綜し異常な気持ちにあったことを思い出す。そして四月後卒業した。それから波乱万丈の六〇年が過ぎた現在、転校生を入れて卒業生の半数近い約一五〇名が健在である。平成十三年十二月には戦死した友への追悼を兼ねた沖繩旅行、平成十四年は福岡本部から始まり東京支部、関西支部それぞれで記念の総会、そして昨年初めに卒業六〇周年記念誌が出来上がった。これの一つのけじめを付けることにしている。

表題の『イベント総会』はイベントと総会を組みあわせての名前である。初めは卒業五〇周年記念総会で皇居参観を企画し、福岡関西からも多くの参加があり好評だったことから是非毎年と言うことで十一年間続いている。次の盛会は皆のチームワークの賜物である。リスト

(総会懇親会は毎回、十月か十一月出席者は同伴も含む)

- ・H四年/皇居参観/卒業五〇周年記念/三〇名
- ・H五年/浜離宮庭園/二三名
- ・H六年/国立能楽堂十月特別公演/二八名(桑野先生)

- ・H七年/国立劇場歌舞伎「通し狂言・平家女護国」/二三名
- ・H八年/国立演芸場/二八名
- ・H九年/箱根芦ノ湖・富士遊覧/三九名
- ・H十年/新国立劇場オペラ/二四
- ・H十一年/新橋劇場「明治一代女」/二二名
- ・H十二年/お台場散策/十七名
- ・H十三年/国立劇場「大願成就殿下茶屋敷」/二〇名
- ・H十四年/有楽町東京宝塚劇場・鎌倉散策/卒業六〇周年記念/二七名



二木会から

第五〇〇回記念
『現在の危機と二人の新聞人』
箱島 信一 (S31年卒)

二〇〇三年二月十三日
きょうは、私の仕事である新聞をテーマにお話をしようと思いきや、ジャーナリストとして屹立した緒方竹虎さんと笠信太郎さん、修猷館の大先輩でもある二人のことを中心にお話をし、混迷のいま、同じ朝日新聞を預かる立場の私として二人から何を教訓とすべきかを述べてみたいと思います。
二・二六事件での緒方さんの豪胆な対応

緒方さんは早稲田大学を出て明治四四年、朝日新聞に入り大正十四年、三八歳という若さで編集局長を務めた後、主筆、副社長などを歴任し、請われて昭和十九年、小磯内閣の国務大臣となりました。戦後は政治家として再出発し、吉田内閣の副総理や自由党総裁を歴任しました。

緒方さんは昭和三〇年、修猷館創立七〇周年の記念式典に来館し講演されました。私は当時三年生で、運動場のテント張りの会場でこれを聞ききました。その翌年、緒方さんは急逝され、この講演は文字通り後輩に対する遺言となりました。

新聞記者としても敏腕で、駆け出し時代に「大正」の元号をスクープし、後に政治部長、編集局長に抜擢されました。以来、「朝日の緒方か、緒方の朝日か」とまで言われる存在となりました。

しかし、緒方さんが朝日の社論をリードしたのは、日本の歴史が軍部支配へと暗黒の道をたどった時代と重なります。若い頃にロンドン留学をしたことがリベラリストとしての緒方さんの精神的支柱を形成したようですが、軍部や右翼からは目の敵にされ、実に三度にわたって暴漢などに襲われます。それでも軍部の暴走を阻止できなかったばかりか、結果的にはその流れに加担する役割を果たした新聞の責任について、敗戦で没落していた頃に緒方さんはこう書き残しています。「如何なる国内情勢があつたにせよ、日本国中一つの新聞すらも、腹に反対を懐きながら筆に反対を唱えなかつたのは、そもそも如何なる悲惨事であつたか。日本一の新聞の主筆であつただけ、自分は自分を責めなければならぬのである」。

緒方さんの反省を繰り返さないために、新聞は日々生起する事柄をどう伝え、どう論じていくか。世間に謙虚に学び、しかも時流に流されないという永遠の課題に向かつて試行錯誤でいくしかないと思つています。

緒方さんの思想の根底にあった「自由の尊重」
緒方さんは朝日新聞の社論を担う自分の後継者として、修猷館の後輩でもある笠さんを入社させましたが、その笠さんの人柄と秀才ぶりに緒方さんは大いに満足し、軍部から「アカ」と罵られた笠さんを守るために昭和十六年、ベルリン特派員として送り出します。海外に一種の避難をさせたのです。

その小新聞の流れを継ぐのが現在の新聞なのです。
さいわい新聞は、すべての世論調査で情報が最も正確で信頼性が高いメディアであるという結果が出ています。私にとって新聞は生涯をかけた仕事であり、何としてもこの信頼や期待を裏切つてはならない。

緒方さんと笠さんが心血を注いだのもまさにこの一点にあり、私の残りの人生をかけてに値するチャレンジだと思つています。
(講演の一部を抜粋しました。全体はこの約四倍、ホームページにそのまま載せています)
<http://www.shunju.co.jp/>
(朝日新聞社社長)

第五〇三回
がんの痛みを癒す
一生と死の狭間の医療現場から
高宮 有介 (S51年卒)

「心を伴ったときには体は素晴らしい力を発揮する」――剣道を通して感じてきたことを医療の中に生かせないかと考えたことが、

フィットネスやります
清水 英範 (S26年卒)

エアロビクス・ダンスは老若男女の楽しみですよ!!
平成十五年の大漫会(昭和二六年卒)の新年宴会の座敷の一角で話題が、会報に掲載された私の「フィットネススクラブの十五年」のエアロビクス・ダンスである。「俺もあの記事を読んだから、フィットネススクラブに行くようになった」という感動的コメントもあったことが、多くの感想は「あんな楽しいことはないなられんナ」とか「古希にもなった今更始められないよネ」というものであった。席上改めて楽しみと効用の一端をお伝えいたします。
*エアロビクスにも色々あります。達成感を味わいましょう
どのクラブもレベルを段階的に変えて多様なプログラムを組んでいる

自分が緩和ケアに携わるきっかけとなった。緩和ケアの医療としての歴史は、WHOが方法論をマニュアルにしたのが一九八六年とまだ新しく、一九八八年にこの分野で先進しているイギリスで研修した後、九二年に緩和ケアチームを昭和大学病院に発足した。

緩和ケアとは、三つの柱がある。第一には、患者さんの全人的なケアである。身体的のみならず、精神的、社会的、スピリチュアルな苦痛がある。社会的とは、仕事や家庭、経済的な苦痛である。スピリチュアルとは、一つは、自分の人生の意味や役割などへの問いかけであり、もう一つは、死とはどういうことか、死後の世界はあるのか、といった不安や疑問である。

緩和ケアの柱の第二は、家族のケアである。死にゆく愛しい患者さんを前に、家族もまた傷ついた存在である。家族を支えることに、患者のサポートも可能になる。そして、家族は患者の死後、遺族となる。遺族のケアも大切な仕事である。ただし、医療者の時間的な制約もあり、遺族のケアは十分に行われているとはいえない。

又きて下さいね。」と言われたら、また行くことが続けるための鍵である。
*エアロビクスの効果…さて結果として健康状態、体力はどうなっているか。
体脂肪率%:二二・八(適正:二四・二三、軽度肥満:二五・三〇、肥満:三〇・三三)
反射神経チェック(全身反応時間)秒:〇・三五七(四〇歳代普通:〇・四一四)

瞬発力(垂直跳び):一・四五(六五歳 強い:一・三八、普通:一・三三、弱い:一・二七)
これで見ると、エアロビクスでトレーニングの動きの変化に付いていくのが身に付いたせいか、反射神経チェック(目の前の赤いランプが付いたら脚の下のマットから跳び上がると反応時間が測定される)は五年前と変わっていないし、垂直跳びの高さは前より増えている。
*皆さんもいかがですか
私のクラブでは、エアロビクスの初級クラスは老若男女が多



会長便り

甲申五黄土星の年に思う

藤吉 敏生
(S26年卒)

平成十六年の今年は甲（きの）申の五黄土星である。冒頭から私事で恐縮だが、私は六度の年男を迎えた。しかも、三十六年に一度めぐってくる申の五黄土星である。私にとって今年、色々な意味でここ迄の人生の歩みを振り返り、これからラスト迄をどうもつていくか、考える年にしたいと思っている。

私の友人に運勢学の権威者がいるが、その人によると、五黄土星の年は何かと世の中が激しく変化し、騒乱事件が起きるといふ。そういわれて、私は過去の歴史を調べてみた。なるほど国をゆるがすような事件が起きている。少し列記してみよう。

（東京修猷会会長）

総会報告

二〇〇三年東京修猷会総会要略
津崎 盛久
(S52年卒)

二〇〇三年六月六日 午後九時近く、四六四名の方々が集

集し東京修猷会が終わった。わが「ごじゆうに会（昭和五二年卒）」の九六名には、夢の中でのきこえのようだった。

それは今から五年前に遡る。同窓会が本格的に始まった頃と時を同じくして、同期メンバーのリスト（ML）が誕生した。

この時に始まったMLが今や二〇〇人の大所帯。何と一学年の半数近くの同窓生が、世界中から情報を通して来る。これまでやりとりしたメールの数は何と六千件。そしてこれこそが、私たちの学年企画テーマのヒントとなった。

私たちの企画のテーマは「世界に広がる修猷ワールド」。世界で活躍する修猷OB・OG。修猷を、海外で苦学されている方々の視点で掘り下げることに、改めて母校の素晴らしさを再認識すると共に、特に若いひとの励みになればと考えて選んだテーマである。MLはそのルーツとなった。

テーマと共に大きな問題は会場変更。もうこれだけでも大変。ところが、さる官僚の八面六臂の大活躍で、限られた予算の中で、広く天井の高い会場と、十分な食事を確保できた。こんな個々の活躍が集大成し、成功を呼び込んだ。報酬などないボランティアの集まりで、毎回真剣な経営会議みたいなことをやってきた。高校時代の運動会・文化祭の再現だ。身体にすっかり組み

込まれたDNAは忘れていない。修猷魂を。誰かは「修猷NPO」と呟いた。

成功のポイントはいくつかあるが、特筆すべきは二つ。一つは「女性を大事にすること」。ユーマンの戦略と同じ。「女性をターゲットにすれば、おとこは自然について来る」。修猷・共学になってほんときとよかった。

それから、カラオケ。会合が終わると居酒屋に行つてカラオケ。これが一つの文化に昇華した。このカラオケでストレスが発散されて、何事もうまく行くという好循環を創り上げた。仕事も家庭もあつて、そして幹事の身と仕事量。結構プレッシャーもきついで、カラオケがガス抜きになった。

他にも色々な貢献・献身があつたが、メンバーみんなが功労者。餅は餅屋に徹して、最後までチームワークが乱れなかった。これは正に修猷DNAという「神の見えざる手」のなせるわざだった。

私たちの労をねぎらつて下さった藤吉会長、色々なアドバイスを下さった渡辺幹事長他諸先輩、感謝の気持ちで一杯です。来年ご担当の五三年卒の皆さん、あまりきばらずに、自分たちのやることをやって下さい。そして、自分たちも十分楽しんで下さい。このときも、ぜひ電話で予約を。港区新橋東新橋一丁目三十三番地。電話 〇三―三五七五―〇五二二 深夜三時まで。

長浜ラーメンの店「呑龍」

安東 泰隆
(S51年卒)

この店はラーメンのある居酒屋といったほうがいいのかも。それに、テーブル席で焼酎の一瓶を囲む九州人たちの姿がほとんど毎晩見ることがない。「伊佐美」「魔王」「森伊蔵」「佐藤」「中々」など、メジャーな焼酎が一升瓶でキープできるほか「辛子明太子」「おきゅう」と「馬刺」などの定番つまみに加えて、「丸天」「豚バラの塩焼き」「牛筋の煮込み」「せんまい刺」など、博多のB級グルメ好きにはたまらないメニューが揃えられている。じっくり煮込んだ細麺とこつラーメンも本格派である。替え玉ももちろんだが、青ねぎ、きくらげ、もやし、チャーシューも好み次第。

この店の主人、豊田さんは博多出身で、西南中、高のご卒業。昔は俳優を目指したといういい男で、奥様は修猷館を昭和六〇年に卒業した現役のスチュウデスである。懐かしい味のつまみ、焼酎、ラーメン、そして主人。これらに魅かれて九州人、そして修猷館卒業生が多く集まり、飲み、話らつて居るのが、この呑龍である。狭い店なので、四人以上で行かれるときは、ぜひ電話で予約を。港区新橋東新橋一丁目三十三番地。電話 〇三―三五七五―〇五二二 深夜三時まで。

毎年の行事として冬には武道の寒稽古が授業開始前に一時間あり、剣道部員であつたから皆より一時間早出して汗を流した。原小学校あたりまでを回る長距離の遠足、九月十三日の大宰府への夜行軍、西戸崎往復四〇kmの夜行軍など記憶にあり、又篠栗へ泊りがけでの学校林の手入れ作業など思い出がある。

毎年の行事として冬には武道の寒稽古が授業開始前に一時間あり、剣道部員であつたから皆より一時間早出して汗を流した。原小学校あたりまでを回る長距離の遠足、九月十三日の大宰府への夜行軍、西戸崎往復四〇kmの夜行軍など記憶にあり、又篠栗へ泊りがけでの学校林の手入れ作業など思い出がある。

毎年の行事として冬には武道の寒稽古が授業開始前に一時間あり、剣道部員であつたから皆より一時間早出して汗を流した。原小学校あたりまでを回る長距離の遠足、九月十三日の大宰府への夜行軍、西戸崎往復四〇kmの夜行軍など記憶にあり、又篠栗へ泊りがけでの学校林の手入れ作業など思い出がある。

毎年の行事として冬には武道の寒稽古が授業開始前に一時間あり、剣道部員であつたから皆より一時間早出して汗を流した。原小学校あたりまでを回る長距離の遠足、九月十三日の大宰府への夜行軍、西戸崎往復四〇kmの夜行軍など記憶にあり、又篠栗へ泊りがけでの学校林の手入れ作業など思い出がある。

毎年の行事として冬には武道の寒稽古が授業開始前に一時間あり、剣道部員であつたから皆より一時間早出して汗を流した。原小学校あたりまでを回る長距離の遠足、九月十三日の大宰府への夜行軍、西戸崎往復四〇kmの夜行軍など記憶にあり、又篠栗へ泊りがけでの学校林の手入れ作業など思い出がある。

毎年の行事として冬には武道の寒稽古が授業開始前に一時間あり、剣道部員であつたから皆より一時間早出して汗を流した。原小学校あたりまでを回る長距離の遠足、九月十三日の大宰府への夜行軍、西戸崎往復四〇kmの夜行軍など記憶にあり、又篠栗へ泊りがけでの学校林の手入れ作業など思い出がある。

毎年の行事として冬には武道の寒稽古が授業開始前に一時間あり、剣道部員であつたから皆より一時間早出して汗を流した。原小学校あたりまでを回る長距離の遠足、九月十三日の大宰府への夜行軍、西戸崎往復四〇kmの夜行軍など記憶にあり、又篠栗へ泊りがけでの学校林の手入れ作業など思い出がある。

学年だより

卒業六〇周年を迎え往時を偲びて
いっばち会 安心院 幸敬
(S18年卒)

我々の同期は昭和十三年四月に福岡県立中学修猷館に入学した。我々が学業に励んでいる間に時局は刻々と戦争へ推移して終に四年生の十二月八日には太平洋戦争が勃発し、昭和十八年戦争の真つ只中の三月に卒業した。勿論四修や五年卒業前に上級学校や陸海軍の学校に入学した者も沢山いた。同期会を昭和十八年に因んで一八（いっばち）会と呼び東京周辺在住者は東京一八会として会を催している。

一年の二学期にドイツから来日したヒットラーユーゲントの訪問を受け、バスケット部とラグビー部との選抜メンバーが彼らと日本に初めて紹介されたハンドボールの競技をした。（この事については詳しく書いた本が出ている）

毎年の行事として冬には武道の寒稽古が授業開始前に一時間あり、剣道部員であつたから皆より一時間早出して汗を流した。原小学校あたりまでを回る長距離の遠足、九月十三日の大宰府への夜行軍、西戸崎往復四〇kmの夜行軍など記憶にあり、又篠栗へ泊りがけでの学校林の手入れ作業など思い出がある。

毎年の行事として冬には武道の寒稽古が授業開始前に一時間あり、剣道部員であつたから皆より一時間早出して汗を流した。原小学校あたりまでを回る長距離の遠足、九月十三日の大宰府への夜行軍、西戸崎往復四〇kmの夜行軍など記憶にあり、又篠栗へ泊りがけでの学校林の手入れ作業など思い出がある。

毎年の行事として冬には武道の寒稽古が授業開始前に一時間あり、剣道部員であつたから皆より一時間早出して汗を流した。原小学校あたりまでを回る長距離の遠足、九月十三日の大宰府への夜行軍、西戸崎往復四〇kmの夜行軍など記憶にあり、又篠栗へ泊りがけでの学校林の手入れ作業など思い出がある。

毎年の行事として冬には武道の寒稽古が授業開始前に一時間あり、剣道部員であつたから皆より一時間早出して汗を流した。原小学校あたりまでを回る長距離の遠足、九月十三日の大宰府への夜行軍、西戸崎往復四〇kmの夜行軍など記憶にあり、又篠栗へ泊りがけでの学校林の手入れ作業など思い出がある。

毎年の行事として冬には武道の寒稽古が授業開始前に一時間あり、剣道部員であつたから皆より一時間早出して汗を流した。原小学校あたりまでを回る長距離の遠足、九月十三日の大宰府への夜行軍、西戸崎往復四〇kmの夜行軍など記憶にあり、又篠栗へ泊りがけでの学校林の手入れ作業など思い出がある。

毎年の行事として冬には武道の寒稽古が授業開始前に一時間あり、剣道部員であつたから皆より一時間早出して汗を流した。原小学校あたりまでを回る長距離の遠足、九月十三日の大宰府への夜行軍、西戸崎往復四〇kmの夜行軍など記憶にあり、又篠栗へ泊りがけでの学校林の手入れ作業など思い出がある。

毎年の行事として冬には武道の寒稽古が授業開始前に一時間あり、剣道部員であつたから皆より一時間早出して汗を流した。原小学校あたりまでを回る長距離の遠足、九月十三日の大宰府への夜行軍、西戸崎往復四〇kmの夜行軍など記憶にあり、又篠栗へ泊りがけでの学校林の手入れ作業など思い出がある。

事務局だより

昨年一年間も皆様のご理解とご協力のおかげで総会、二木会をはじめとする東京修猷会の諸活動を無事、活発に終えることができました。改めて感謝いたします。昨年二月には二木会が五百回目という大きな節目を迎えました。箱島信一（朝日新聞社長（昭和三十一年卒、当会副会長）が緒方竹虎、笠信太郎という修猷館の大先輩である二人の言論人の大きな足跡を紹介された名講演には、集まった二百五十人の会員も感銘を受けました。六月の定例総会では会場を都市センターに変えましたが、会場の広さ、食事の量や質ともに好評で、新年度も同じ場所で開催することが決まりました。

また昨年五月の福岡県人会総会では、東京修猷会からは実に百二十五人もの館友が出席し、その圧倒的な団結力は「県人会の歴史に残る」と称されています。

今年もまた総会、二木会などを楽しく、実りあるものにしていきたくと考えています。皆様方の一層のご協力、特に会費納入をよりよくお願いいたします。最後にゴルフ好きの方々に三ノ宮があります。十二月五日第九十五回修猷ゴルフ会（S28年卒の鯛瀬国幸さんがホールインワンを達成されました。本厚木カントリークラブ四番ホールで、距離は一三

今年もまた総会、二木会などを楽しく、実りあるものにしていきたくと考えています。皆様方の一層のご協力、特に会費納入をよりよくお願いいたします。最後にゴルフ好きの方々に三ノ宮があります。十二月五日第九十五回修猷ゴルフ会（S28年卒の鯛瀬国幸さんがホールインワンを達成されました。本厚木カントリークラブ四番ホールで、距離は一三

今年もまた総会、二木会などを楽しく、実りあるものにしていきたくと考えています。皆様方の一層のご協力、特に会費納入をよりよくお願いいたします。最後にゴルフ好きの方々に三ノ宮があります。十二月五日第九十五回修猷ゴルフ会（S28年卒の鯛瀬国幸さんがホールインワンを達成されました。本厚木カントリークラブ四番ホールで、距離は一三

今年もまた総会、二木会などを楽しく、実りあるものにしていきたくと考えています。皆様方の一層のご協力、特に会費納入をよりよくお願いいたします。最後にゴルフ好きの方々に三ノ宮があります。十二月五日第九十五回修猷ゴルフ会（S28年卒の鯛瀬国幸さんがホールインワンを達成されました。本厚木カントリークラブ四番ホールで、距離は一三

今年もまた総会、二木会などを楽しく、実りあるものにしていきたくと考えています。皆様方の一層のご協力、特に会費納入をよりよくお願いいたします。最後にゴルフ好きの方々に三ノ宮があります。十二月五日第九十五回修猷ゴルフ会（S28年卒の鯛瀬国幸さんがホールインワンを達成されました。本厚木カントリークラブ四番ホールで、距離は一三

今年もまた総会、二木会などを楽しく、実りあるものにしていきたくと考えています。皆様方の一層のご協力、特に会費納入をよりよくお願いいたします。最後にゴルフ好きの方々に三ノ宮があります。十二月五日第九十五回修猷ゴルフ会（S28年卒の鯛瀬国幸さんがホールインワンを達成されました。本厚木カントリークラブ四番ホールで、距離は一三

今年もまた総会、二木会などを楽しく、実りあるものにしていきたくと考えています。皆様方の一層のご協力、特に会費納入をよりよくお願いいたします。最後にゴルフ好きの方々に三ノ宮があります。十二月五日第九十五回修猷ゴルフ会（S28年卒の鯛瀬国幸さんがホールインワンを達成されました。本厚木カントリークラブ四番ホールで、距離は一三

今年もまた総会、二木会などを楽しく、実りあるものにしていきたくと考えています。皆様方の一層のご協力、特に会費納入をよりよくお願いいたします。最後にゴルフ好きの方々に三ノ宮があります。十二月五日第九十五回修猷ゴルフ会（S28年卒の鯛瀬国幸さんがホールインワンを達成されました。本厚木カントリークラブ四番ホールで、距離は一三

五ヤード、小雨の中でした。おめでとございます!!
(幹事長・渡辺俊介)

新執行部

幹事長	渡辺 俊介 (S38)
副幹事長	棚町 精子 (S40)
	白井 信雄 (S43)
	本田由紀子 (S45)
	堀 信之 (S47)
	野中 哲昌 (S50)
	安東 泰隆 (S51)
	坪根みさ子 (S51)
	寺岡 隆宏 (S52)
	田代 桂子 (S52)
	西村健志郎 (S53)

編集後記

今号は偶然ですが、昔の修猷館を振り返る記事が多く集まりました。

また昨夏は、修猷館三年生の中野陽平君がインターハイで陸上八種に全国優勝というニュースもありました。会報の感想や会員情報をお知らせいただければ幸いです。（棚町）

無線部 YAF ネットのHPです。
<http://www.higuchi.com/html/jag6at.html>

平成15年度寄付金

平成14年11月1日から平成15年10月31日までに180名の皆様から寄付金が納入されています。ありがとうございます。お礼の意味を込めてお名前を掲載させていただきます。（敬省略。卒年別。順不同）

また、年会費の納入をまだ済まされていない方は、同封の郵便振替用紙にて早速ご送金くださるようお願い申し上げます。

（1口3千円。3千円以上大歓迎。3千円を超えた額は寄付扱いします。）

00170-6-172892 東京修猷会事務局

大島毅一（昭4）、田中登喜雄・富田明德（昭9）、橋本胖（昭11）、鎌田正行・篠崎春男（昭12）、青木武志・高村健一郎・中村浩二（昭13）、野村俊男・隈部 晃・野瀬弘行（昭14）、高川正通（昭15）、鶴田一白・橋本襄爾・不破敬一郎（昭18）、田尻重彦・早野俊一・毛利昂志（昭19）、ジャイ岩橋（昭20（5））、田中庸夫・津曲浩人・野上三男・榊田弘道・山本敏男（昭20（4））、小沢雅亮・稗田孝道（昭21）、南雲進・黒瀬幸正（昭22）、荒谷俊治・伊岐和男・井上洋一・大西勇・白木彬雄・田尻和彦・月成巍・久水宏之・松岡春樹・柳 泰行（昭23）、廣石康二・山本義治（昭25）、石田洵一・太田進・大平修・合谷欣一・小西正利・中村道生・廣瀬貞雄・藤吉敏生・湖上貫之・中上通敏・奥村秀郎（昭26）、福田純也・難波榮彦・飯田英子・石橋良介・金田久仁彦・榊喜美子・谷川清士・都島惟男・和栗真次郎・永田仁（昭27）、児玉黎子・松榮孝昌・藤村道徳・柳島富男（昭28）、齊藤弘子・高木道子・長尾淑實・村越登・長野偉士・中沢郁子（昭29）、稲富治・川本英夫・喜多村寿信・久保久・坂本幸治・塩沢孝憲（昭30）、阿部公明・岸川浩一郎・高崎洋一・伊達直哉・中村保夫・箱島信一・石橋明（昭31）、小野靖記・高宮洋一・鳥居健太・能美淳一・平野照幸・吉村剛太郎（昭32）、今吉淳一・河野理・城みよ子・寺澤美和子・松永貴子・米倉實・香崎温子（昭33）、井手民基・大谷南郎・加藤泰・川辺誠治・黒川守雄・小金丸則幸・讀井邦夫・西嶋勝彦・服部富美子・伴拓郎・行武賢一（昭34）、可見晋・隈部忠昭・田代信吾・田中丸善厚・中村純男（昭35）、是枝紘一・高村修一・中島成之・馬場襄之輔・日高久萬男・光安哲夫・山本博・横倉稔明（昭36）、大須賀頼彦・追呂生・福田洋・藤波督・牧文一郎・石崎正典（昭37）、上田茂・玉井龍二・渡辺俊介・渡辺紀大（昭38）、久保田康史・高橋登世子・並木喜久子（昭39）、宮本雄二・森秀則・由良範泰・棚町精子・田中俊雄（昭40）、新井眞理子・中川原章・野石博嗣・野口基雄・宮原正治・森田澄夫・渡辺耕士（昭41）、石川透・山口秀範（昭42）、長末清美・横田勝介（昭44）、赤松康親・鳥取章二・本田由紀子（昭45）、大島宏樹・折田康徳（昭47）、高山信彦（昭48）、井手富士雄・古森光一郎・橋村秀喜（昭49）、古賀隆太郎・野中哲昌（昭50）、安東泰隆・加藤純一・田上賢治・原一郎・油田哲（昭51）、古賀敏文・寺岡隆宏・平嶋彰英・作間 功（昭52）、上蘭勉（昭53）、井手昇・井手慶祐・福原直通・山本裕嗣（昭58）、朱雀誉史（昭60）、剣彰彦（昭62）、岩松洋史（平3）、兜谷心吾（平11）

平成十五年 二木会

第499回	1月	吉武 民樹 (S42年卒)
		『年金改革の方向と論点』
第500回記念	2月	箱島 信一 (S31年卒)
		『現在の危機と二人の新聞人』
第501回	3月	望月 久美子 (S44年卒)
		『都心回帰とニューシニアの住まい方』
第502回	4月	吉永 國光 (S39年卒)
		『国際協力のあり方』
第503回	5月	高宮 有介 (S51年卒)
		『がんの痛みを癒す』
第504回	7月	牧角 悦子 (S52年卒)
		『『詩経』の中のエロス』
第505回	9月	木下 洋一 (S22年卒)
		『21世紀を救うナノ テクの最前線』
第506回	10月	渡辺 俊介 (S38年卒)
		『わが国社会保障制度における構造改革の流れ』
第507回	11月	洞 駿 (S41年卒)
		『航空行政の課題』